

日本史

注 意

1. 問題は全部で 11 ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その 2)はマーク・シートになっている。H B の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の ○ を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が 1 のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	<input type="radio"/> ⑥	<input type="radio"/> ⑦	<input type="radio"/> ⑧	<input type="radio"/> ⑨	<input type="radio"/> ⑩
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことにならない。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I 次のA～Fの文章を読んで、後の間に答えなさい。

- A 縄文時代には石器の石材が交易の対象物となっていたことが、その産地から遠く離れた地域の遺跡から出土することによって知ることが出来る。例えば、黒曜石は長野県和田峠、熊本県阿蘇山、伊豆七島の あ 島などがその産地であった。また、ひすいの産地は限られており、新潟県の姫川・糸魚川流域がよく知られている。
- B 弥生時代にはゴホウラやイモガイなどの南西諸島産の貝で作られた貝輪が九州の遺跡から出土し、南西諸島と九州との間に交易ルートがあつたことが分かる。また、この時代には大陸から水稻耕作も伝えられ、彼の地から重要な文化的影響を受けたことを知ることも出来る。水稻耕作の技術はやがて西日本一帯に広まり、東北地方の北部にまで伝わったと考えられる。
⑤
⑥
- C 古墳時代になると大陸との往来はさらに盛んになり、倭の五王が中国南朝に使者を送ったことが中国の歴史書の記事にみえる。朝鮮半島との交渉も盛んに行われ、半島南部の鉄資源を確保するために、倭国は伽耶諸国と密接な関係を保っていた。このような交渉の中で種々の技術がもたらされ、それが日本の各地に伝播することになった。
- D 7世紀の中ごろ以降、我が国が律令国家への道を歩み始めると、徐々に地方行政組織が整えられて、中央集権化が進められた。飛鳥地方には大規模な宮が造営されることになり、官僚制の形成も進んでいった。また、銭貨の鑄造も行われることになった。この時代、天皇家や中央豪族が多くの寺院を建立し、地方豪族も競ってこれにならつたため、おおいに仏教が興隆した。
- E 8世紀に大宝律令が完成したころには、地方組織として全国に畿内・七道の行政区画が形成され、また都と地方を結ぶ官道も整備された。この官道は駅路とそれ以外の い 路からなる。駅路は駅制に対応する道路で、約16kmごとに う が置かれていた。 い 路は各郡家間などを結ぶ地方の道であった。これらの官道は中央政府への調の運搬や情報伝達の上で、重要な役割を果たした。

F 9世紀の末に え が廃止され、907年に東アジアの政治と文化の中心
であった中国の王朝が滅びた。とは言え、日本人の大陸への関心が衰えたわけ
ではなかった。巡礼を目的に中国の宋に渡った僧たちは、その地の文物を日本
にもたらした。東大寺の学僧で五台山を巡礼し、宋から釈迦像を持ち帰った僧
^⑪ もその一人である。この釈迦像は後に清涼寺に安置されることになった。宋の
商人は書籍・陶磁器などをもたらし、かわりに金や水銀、真珠などを持ち帰った。
金は奥州の特産であったことから、奥州への関心が高まったといわれる。
^⑫

問 1 空欄 あ い う え に入る最も適當な語を
解答欄に書かれている字数で答えなさい。解答用紙(その1)を用いなさい。

問 2 以降の問には、解答用紙(その2)を用いること。(解答番号 1 ~ 14)

問 2 下線部①に関連して、この阿蘇山の溶結凝灰岩で作られた石人・石馬を
飾る古墳として筑紫の国造の墓と考えられる前方後円墳がある。この古墳
の被葬者が反乱を起こした際に、これを鎮圧した人物は誰か。下から選んで、
その番号をマークしなさい。 1

- ① 物部守屋 ② 蘇我入鹿 ③ 物部龜鹿火 ④ 蘇我馬子

問 3 下線部②に関連して、この時期には水稻耕作以外にも多くの文化の流入
があったが、特に金属器の流入はそれまでの日本人の生活に大きな影響を
与えた。この金属器のうち、刃に直角に柄をつけた武器で、細形や広形の
ものがある青銅器は何と呼ばれるか。下から選んで、その番号をマークしなさい。 2

- ① 銅 戈 ② 銅 剣 ③ 銅 矛 ④ 銅 鐸

問 4 下線部①に関連して、この東北の北部にまで水稻耕作の技術とともに伝わった弥生式土器は普通何式土器といわれるか。下から選んで、その番号をマークしなさい。 [3]

- ① 遠賀川式土器 ② 加曾利式土器
③ 堀之内式土器 ④ 称名寺式土器

問 5 下線部①に関連して、かつてこの地には三韓と呼ばれる韓族の小国家群のうちの一つが勢力を張っていたといわれるが、この地の東北部に勢力を張っていた韓族の小国家群である辰韓を統一し、10世紀に高麗によって滅ぼされた国は何というか。下から選んで、その番号をマークしなさい。

[4]

- ① 高句麗 ② 百 濟 ③ 金官国 ④ 新 羅

問 6 下線部②に関連して、このような技術を大陸からもたらした人々には伴造に従い、大王家・朝廷に所属して、それぞれの職能に応じて奉仕したものもいたが、この人々は何と呼ばれたか。下から選んで、その番号をマークしなさい。 [5]

- ① 部 曲 ② 品 部 ③ 奴 婢 ④ 舍 人

問 7 下線部①に関連して、飛鳥地方に大規模な宮が造られる前に、中大兄皇子が遷都し、滋賀の都とも呼ばれた宮を何というか。下から選んで、その番号をマークしなさい。 [6]

- ① 飛鳥淨御原宮 ② 長柄豊崎宮
③ 紫香楽宮 ④ 近江大津宮

問 8 下線部⑧に関連して、豪族たちを天皇を中心とした身分秩序に編成するために、天武天皇によって制定された制度を何というか。下から選んで、その番号をマークしなさい。 [7]

- ① 八色の姓 ② 蓄錢叙位令
③ 冠位十二階の制 ④ 官位相当の制

問9 下線部⑥に関連して、1999年に「富本銭」を鋳造した工房跡が明日香村で発見されたが、この遺跡名は何というか。下から選んで、その番号をマークしなさい。 8

- ① 水落遺跡 ② 石神遺跡 ③ 飛鳥池遺跡 ④ 島庄遺跡

問10 下線部①に関連して、この時代に建立された寺院の一つに、大宝の前後には大安寺、薬師寺、元興寺と並んで四大寺と称された国家的寺院がある。この寺は何という寺か。下から選んで、その番号をマークしなさい。

9

- ① 紀寺 ② 弘福寺 ③ 山田寺 ④ 橋寺

問11 下線部①に関連して、七道のうち東山道に入っていない国を下から選び、その番号をマークしなさい。 10

- ① 飛騨 ② 上野 ③ 常陸 ④ 下野

問12 下線部⑫に関連して、郡家は郡の役所のことであるが、郡司が郡の民政・裁判をつかさどり、その役職には旧国造ら在地豪族が任命された。この郡司は四等官よりなるが、その四等官に入らないものを下から選び、その番号をマークしなさい。 11

- ① 介 ② 大領 ③ 主政 ④ 主帳

問13 下線部①に関連して、この年、日本では当時の天皇の命で『延喜式』の格12巻が完成した。この編集に関わったのは誰か。下から選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① 藤原良房 ② 藤原頼通 ③ 藤原道長 ④ 藤原時平

問14 下線部⑪の僧は誰か。下から選び、その番号をマークしなさい。 13

- ① 円仁 ② 円珍 ③ 菩然 ④ 最澄

問15 下線部①に関連して、この金や馬などの産物を経済基盤にして、奥州藤原氏は栄えたが、その最盛期を作り、源義経を保護した藤原秀衡は宇治平等院鳳凰堂を模して寺院を建立した。その寺院は何という名称か。下から選び、その番号をマークしなさい。 14

- ① 無量光院
- ② 中尊寺金色堂
- ③ 毛越寺
- ④ 願成寺阿弥陀堂

II

中世から近世にかけての土地制度などに関する以下の設問に答えなさい。

問 1 後三条天皇による莊園整理は、かなりの成果を上げたが、それとともに、
耕の統一も図られた。その耕の名称として適當なものを次の選択肢から選び
その番号をマークしなさい。以下[問 6]までは、解答用紙(その2)を用いな
さい(解答番号 [15] ~ [20])。 [15]

- ① 宣旨耕 ② 国 耕 ③ 京 耕 ④ 莊 耕

問 2 承久の乱後、鎌倉幕府は地頭の収入として、新たに新補率法を定めたが、
その説明としてもっとも不適當なものを、次の選択肢から選びその番号を
マークしなさい。 [16]

- ① 田畠 11 町につき、1 町の土地を地頭に与える。
② 山や川からの収益の半分を、地頭に与える。
③ 田地 1 段につき、5 升の加徴米を与える。
④ 田地 1 段につき、5 升の兵糧米を与える。

問 3 鎌倉時代の武士は、館を構え、その周辺部には、直営地を設け、耕作させ
ていたが、その直営地を示す語としてもっとも不適當なものを次の選択肢か
ら選びその番号をマークしなさい。 [17]

- ① 正 作 ② 直 作 ③ 佃 ④ 用 作

問 4 動乱が続く中、室町幕府は地方の武士を動員するため、守護の権限を拡大
し、軍費調達のため、半濟令を発布した。これはやがて永続的に行われるよ
うになったが、はじめてこれが発布された年代について、次の選択肢から選
びその番号をマークしなさい。 [18]

- ① 1347 ② 1352 ③ 1357 ④ 1362

問 5 太閤検地では、土地の面積表示を新しい基準の下に統一した上で行われたが、その基準について説明したものとしてもっとも適當なものを、次の選択肢から選びその番号をマークしなさい。 19

- ① 6尺5寸(約197センチ)四方を1歩とし、360歩を1段とした。
- ② 6尺5寸(約197センチ)四方を1歩とし、300歩を1段とした。
- ③ 6尺3寸(約191センチ)四方を1歩とし、360歩を1段とした。
- ④ 6尺3寸(約191センチ)四方を1歩とし、300歩を1段とした。

問 6 近世の年貢率には、検見法と定免法があったが、定免法を広く取り入れて年貢率の引き上げを図った政策が行われたものとしてもっとも適當なものを、次の選択肢から選びその番号をマークしなさい。 20

- ① 天保の改革
- ② 正徳の政治
- ③ 寛政の改革
- ④ 享保の改革

問 7 地頭の年貢未納を防ぐため、莊園領主などは、莊園の管理を地頭に任せるかわりに一定の年貢納入を請け負わせる契約を結ぶことがあったが、その契約は何と呼ばれたか、解答しなさい。以下[問10]までは、解答用紙(その1)を用いなさい。

問 8 戦国大名は、国人や地侍などを家臣団に編成し、彼らの収入額を貨幣に換算した基準に基づいて軍役を賦課させるようにしたが、その基準を何というか、解答しなさい。

問 9 戦国大名が行った検地は、領主や名主に面積・収入額などを申告させるものであったが、このような方式の検地を何というか、解答しなさい。

問10 近世の村の多くは農業を主とする農村であったが、この他、いわゆる漁村や、山村、また、定期市などを中心に都市化した村などもあった。この都市化した村を何とよぶか、解答しなさい。

III

以下の文を読み、下記の設問に答えなさい。

1970(昭和 45)年、二大製鉄会社が合併し、あ が設立された。1960 年代に鉄鋼一貫メーカーは 9 社を数え、日本の製鉄業は激しい競争を展開していた。そのなかで生産量を増大させたばかりでなく、a によって先進国製鉄業を圧倒する高い生産性を達成した。この年、強力なリーダーが誕生したことは、「産業の米」を自負し、世界の製鉄業をリードするにいたった日本の製鉄業界にとっても、記念すべき出来事であった。

日本の近代的製鉄業は、その初めは国際的に著しい後進国で、ごく小規模の生産でのスタートであった。在来の製鉄法は、砂鉄を原料とする伝統的なb 法であり、中国地方などで盛んであった。近代的な製鉄法としては、幕末の 1850 年、c が反射炉を築いたのが最初であり、ついで幕府もd に命じて韭山に反射炉を建設させた。さらに、水戸藩も薩摩藩や南部藩から技術者を招いて高炉を建設し、鉄鉱石からの製錬に取り組んだ。こうして 1850 年代だけで、全国であわせて 11 か所で反射炉が建設され、なかでも釜石周辺には大島式高炉が数多く建設されて、近代的な製鉄技術が蓄積されていったのである。こうした急速な動きは、e における中国の惨敗が日本に与えたショックだといわれている。

明治維新後、f が外国人技師を雇用して釜石の高炉の大型化など近代化を進めたが挫折した。1884(明治 17)年にこの製鉄所を田中長兵衛が引き取り、数年で経営を軌道に乗せた。しかし、当時の高炉は 50~60 トンと小規模であり、コスト高であるばかりか、木炭を燃料としていたため、資源的な制約も大きかった。そこで、g は銑鉄の国産化を進めるために 160 トンの高炉 2 基を備えた製鉄所を計画し、1901 年にい が稼働を開始した。同製鉄所の経営は 1905 年から黒字化し、日本の鉄鋼生産の中心はh と推移した。

一方民間では、1907 年にi の近くに日産 60 トン規模の輪西製鉄所が建設された。その結果、北海道は鉄鋼の産地として第 2 位に浮上したのである。しかし、1885 年からの 30 年間を通算して、鉄鋼の自給率は 20 % 弱といわれて

いる。日本では、銑鉄を輸入に依存しながら、鋼生産と機械工業がそれなりの発展をとげたのである。

結局、民間の製鉄所が競争力を持つようになったのは、jによるブームの結果であった。1919(大正8)年には銑鉄生産で民間製鉄所が官営製鉄所を抜き、鋼材でも拮抗するまでになった。しかし、その後は安価なインド銑鉄の流入に悩まされ、一転して不況に苦しんだため、鉄鋼企業の大合同が模索されて、1934(昭和9)年に日本製鉄株式会社が設立された。同社は、銑鉄生産の94%、鋼材生産の50%を占める独占企業であった。しかし同社は、日本の敗戦後、kが主導した占領政策の一環としてlに基づいて解体され、民間製鉄所の時代が訪れたのである。

問1 空欄あ いにあてはまる名称を解答欄に記しなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問2 以下は、解答用紙(その2)を用いること(解答番号21~32)

問2 空欄aに入る適切な語句を次の①~④のなかから選び、マークしなさい。21

- ① 資本の自由化 ② 独占 ③ 系列の形成 ④ 技術革新

問3 空欄bに入る適切な語句を次の①~④のなかから選び、マークしなさい。22

- ① 南蛮吹き ② 灰吹き ③ たたら吹き ④ 真吹き

問4 空欄cに入る適切な藩名を次の①~④のなかから選び、マークしなさい。23

- ① 佐賀藩 ② 薩摩藩 ③ 南部藩 ④ 肥前藩

問 5 空欄 に入る適切な人物名を次の①～④のなかから選び、マークしなさい。

- ① 渡辺峯山 ② 佐久間象山
③ 高島秋帆 ④ 江川太郎左衛門

問 6 空欄 に入る適切な語句を次の①～⑧のなかから選び、マークしなさい。

- ① 北清事変 ② 太平天国の乱 ③ アロー号事件
④ アヘン戦争 ⑤ 太平洋戦争 ⑥ 日中戦争
⑦ 第一次世界大戦 ⑧ 第二次世界大戦

問 7 空欄 に入る適切な省庁名を次の①～⑧のなかから選び、マークしなさい。

- ① 北海道開拓使 ② 拓殖務省 ③ 内務省
④ 通信省 ⑤ 陸軍省 ⑥ 農商務省
⑦ 商務省 ⑧ 工部省

問 8 空欄 には 1880 年代→1890 年代→1900 年代における鉄鋼生産の中心地の都道府県名が入る。その推移として正しいものを次の①～④のなかから選び、マークしなさい。

- ① 岩手→福岡→千葉 ② 岩手→北海道→福岡
③ 島根→岩手→福岡 ④ 鳥取→福岡→千葉

問 9 空欄 に入る適切な地名を次の①～④のなかから選び、マークしなさい。

- ① 函館 ② 室蘭 ③ 苫小牧 ④ 小樽

問10 空欄 に入る適切な組織名を次の①～④のなかから選び、マーク
しなさい。

- ① 日本政府
- ② 在日米軍司令部
- ③ 連合国対日理事会
- ④ 連合国最高司令官総司令部

問11 空欄 に入る適切な法律名を、次の①～④のなかから選んで、
マークしなさい。

- ① 過度経済力集中排除法
- ② 制限会社令
- ③ 持株会社整理委員会令
- ④ 独占禁止法

